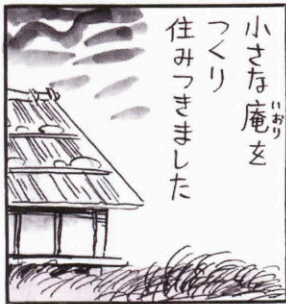


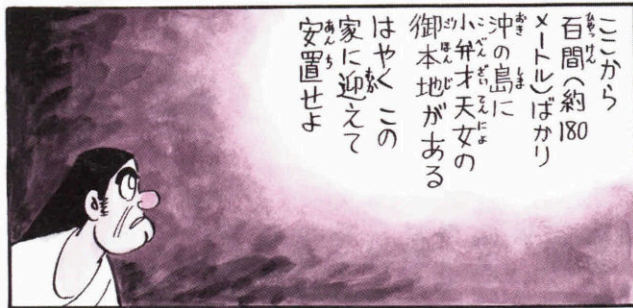
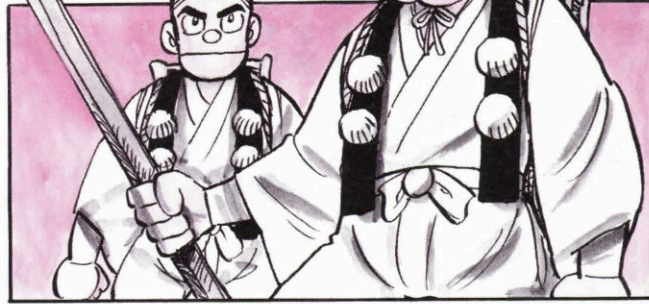
みすみ昔ばなし 第44話  
**小糸の地蔵**  
 広中 建次



宝暦九年  
 (一七五九)  
 八月  
 尾張の国  
 (愛知県)  
 の行者  
 日隆、日章  
 という者が  
 小島に来て



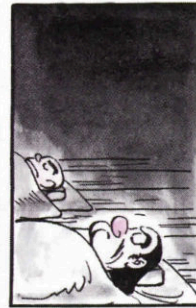
小さな庵を  
 つくり  
 住みつきました



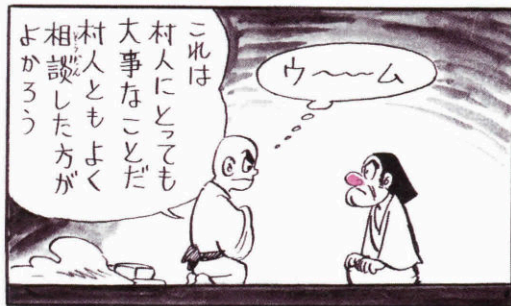
ここから  
 百間(約180  
 メートル)ばかり  
 沖の島に  
 小糸才天女の  
 御本地がある  
 はやくこの  
 家に迎えて  
 安置せよ



日章  
 日章



ある夜



これは  
 村人にとっても  
 大事なことで  
 村人ともよく  
 相談した方が  
 よからう

ウ〜〜ム



たっ今  
 お告げが  
 あった!  
 なに



どうか  
 したか  
 日章



どうだろう  
 ここはひどろ  
 だまされた  
 と思つて  
 その島へ  
 渡つて  
 みては?



皆の衆  
 ここで  
 あーだ  
 こーだ  
 言うても  
 ラチがあかん

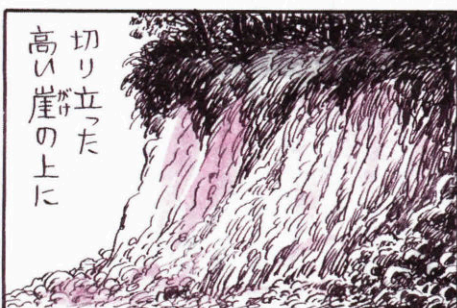


今まで  
 そんな話  
 聞いたことも  
 ないしな

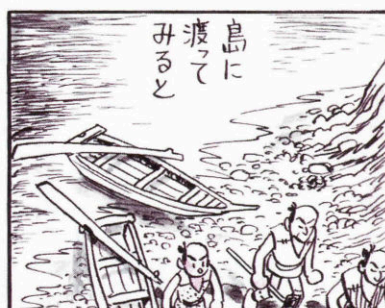
なんとも  
 不思議な  
 話だのう  
 にわかには  
 信じられん



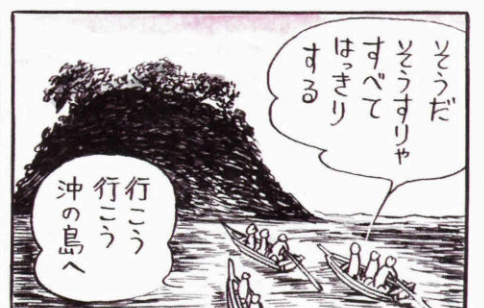
そこで  
 日章は  
 翌朝  
 このことを  
 村人に話し  
 ました



切り立った  
 高い崖の上に



島に  
 渡つて  
 みると



行こう  
 行こう  
 沖の島へ

そうだと  
 いうすりゃ  
 すべて  
 はまり  
 する